

**株式会社タカラトミー
2017年3月期 第2四半期
決算説明会**

**2016年11月10日
証券コード: 7867**

2017年3月期 第2四半期 決算概要

2016年11月10日

株式会社タカラトミー
取締役 小島 一洋

連結損益計算書

(2017年3月期第2四半期累計期間)

**TAKARA
TOMY**

単位: 億円

	当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
売上高	766	778	-12
売上原価	481	500	-19
売上総利益	285	277	+8
営業利益	25	8	+17
営業利益率	3.4%	1.1%	+2.3%
EBITDA	66	53	+13
経常利益	16	7	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5	2	+3

※ 金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 売上高
国内市場での販売が好調に推移した一方、海外市場では映画コンテンツ商品展開の一巡や、為替が円高に推移したことなどにより減少
- ◆ 売上総利益
利益率の高い国内の玩具ビジネスが好調に推移するとともに、仕入原価などの減少に伴い増加
- ◆ 営業利益
売上拡大を目的とした広告宣伝費を増加させたものの、売上総利益の増加に加え、TOMY International グループ再建の一環として実施した人員削減など販売費及び一般管理費が減少したことにより増加
- ◆ 経常利益
営業外費用における為替差損が増加したものの、営業利益の改善に伴い良化
- ◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益
TOMY International グループのオセアニアにおける一部ベビー用品の無形固定資産の一部の減損損失など特別損失565百万円を計上したものの良化

販管費明細 (2017年3月期第2四半期累計期間)

単位: 億円

	当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
販管費合計	259	269	-10
人件費	89	101	-12
広告宣伝費	59	49	+10
研究開発費	14	12	+2
物流費	32	33	-1
TI買収に伴う のれん等償却費	9	14	-5
	\$ 9.4MM	\$ 11.6MM	-\$ 2.2MM

※金額は表示単位未満切捨て

◆ 販管費合計

- ・ 売上拡大を目的としてマーケティングの強化に伴い広告宣伝費が増加
- ・ 前年度、TOMY International グループの再建策の一環として実施した人員削減により人件費が減少

地域別売上高 (2017年3月期第2四半期累計期間)



単位: 億円

地域	当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
日本	488	434	+54
北米	160	203	-43
欧州	46	54	-8
オセアニア	11	14	-3
アジア	52	54	-2
その他	7	16	-9
合計	766	778	-12
海外売上比率	36.3%	44.2%	-7.9%

※金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 日本
展開を強化している「定番」「新規」「ビッグベット(最重点商品)」「おもちゃ4.0」の各商品群の販売が好調に推移
- ◆ 北米
「ポケモン」関連商品の販売が伸長したものの、映画コンテンツの商品展開が一巡したことなどにより、売上高が減少
- ◆ 欧州
バストイなどのベビー商品や農耕車両玩具の販売が軟調に推移するとともに、映画コンテンツの商品展開が一巡し売上高が減少
- ◆ オセアニア
収益性改善を目的とした一部不採算商品からの撤退や、映画コンテンツの商品展開が一巡したことなどにより売上高が減少
- ◆ アジア
前年度に設立したTOMY Asia Limitedから、人気を博している「トミカ」やキャラクター関連商品などの出荷が増加したものの、TOMY International グループにおける香港向け玩具の出荷が減少

特別損失のポイント (2017年3月期第2四半期累計期間)

■ 主要変動項目

単位: 億円

	当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
特別損失	5	0.5	+4.5
減損損失	5	0.3	+4.7

※金額は表示単位未満切捨て

◆ 特別損失

TOMY International グループのオセアニアにおける一部ベビー用品等の無形固定資産の減損損失など特別損失565百万円を計上

連結貸借対照表のポイント (2017年3月期第2四半期累計期間)

■ 主要変動項目

単位: 億円

科目	当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
たな卸資産	193	244	-51
日本	138	135	+3
海外	97	147	-50
未実現利益消去	-42	-39	-3

有利子負債合計	677	740	-63
借入金	577	640	-63
社債	100	100	0

※金額は表示単位未満切捨て

◆ たな卸資産

海外子会社 TOMY International 前期比 -\$30MM (日本円換算で -52億円)

(今期:\$82MM 前期:\$113MM)

＜ドル換算レート＞ 当期 101.12円 前期119.96円		当第2四半期累計期間 (2016/4-9)	前年同期 (2015/4-9)	増減
TOMY International のれん残高	外貨(\$百万米ドル)	188	227	-39
	円貨(億円)	191	272	-81
TOMY International 無形固定資産残高	外貨(\$百万米ドル)	104	142	-38
	円貨(億円)	106	171	-65

タカラトミー 2016年第2四半期状況

成果が見えてきました

2016年5月アナリスト説明会振り返り



→ 改革は進んでおり、日本 + アジアで大きく業績が伸びる
✓ 2015年度 連結売上高 = +9% ✓ 8四半期連続↑ ✓ ブランド力↑
(日本 ↑、アジア ↑、TI ※1 ↑)

→ 海外での改善策を実行
✓ 日本直接経営管理 ✓ 減損実行 ✓ 売上より利益重視

→ 新商品・コンテンツの準備、強さが今後の成果につながる
✓ 国内20超コンテンツ ✓ 3年連続TF映画^{※2} ✓ Big Bet成功 + 拡張



売上高	前年同期比
2016年度 1Q	+2 %
2016年度 2Q	-4 %
2016年度 上期	-1 %



為替ニュートラル

+2%

<2016年10月27日>

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想 上方修正を発表

期初計画対比 営業利益 ↑ 経常利益 ↑ 四半期純利益 ↑

タカラトミー絶好調

(2016年度上期 前年同期比)



= ↑↑ (全て定番↑、新商品、BBが日経Trendyランクイン)



= ↑↑ (アジアセグメントにおけるタカラトミーの玩具売上)



= ↓

TAKARA
TOMY
A.R.T.S

= ↑

TOMYTEC

= ↑

※ベイブレードバースト

イギリスEU離脱



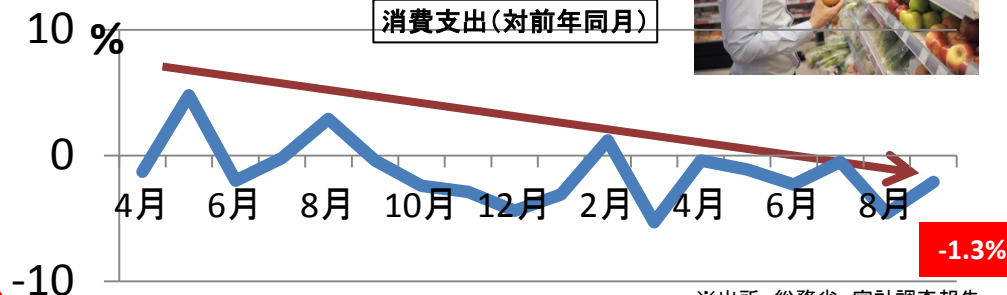
1ポンド = \$1.7



低迷する消費者支出



消費支出(対前年同月)



※出所 総務省 家計調査報告

\$→円 も悪影響



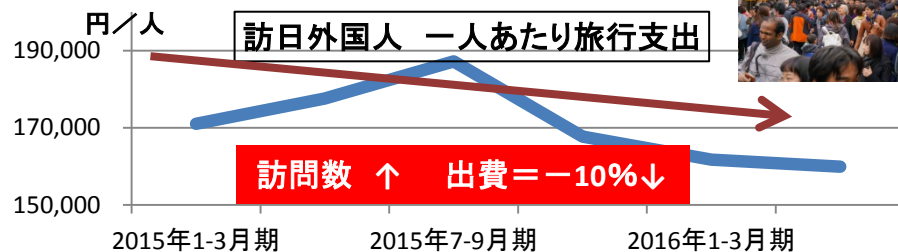
1 \$ = 124円



低迷する訪日観光客・出費



訪日外国人 一人あたり旅行支出



※出所 観光庁 訪日外国人の消費動向

玩具市場 = 約-10%*



大手流通A
大手流通B

玩具終売
NB→PB化



来客者
2014年=47万人
↓
2016年=70万人
+50%



売上
↑ ↑

過去最高

アメリカ
WINTER 2016
HOT TOY!



初

©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・Shohei Ikeda・Pokémon
©2016 Pokémon. ©1995-2016 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。
ニンテンドーSDSは任天堂の商標です。

日本経済新聞 発表
企業イメージランキング
ブランド戦略サーベイ2016 総合PQランキング

2015年度 158位
↓
2016年度 118位

過去最高



17ヶ月連続
トップベンダー

過去最高
更新中



ベイブレード
予想大幅上回る

プリパラ
わずか1日
→22万枚

お盆商戦
前年同期比
130%

ポケモンZリング
高反応

おもちゃショー
3部門 大賞
3部門 優良賞

シーテック*
おもちゃ業界
唯一参加企業

株価
タカラトミー合併後 初
4ケタ達成

*デジタル家電やITの展示会

グローバル化

日本以外の
市場へ進出

RC2買収



シナジー不足

映画コンテンツ
展開

不調

US/EU
急激な為替変動

赤字続く

新たな戦略

TI地域別戦略 (TI アメリカズ)

- 構造改革—日本直轄経営 実行済み+リストラ済み
- 「6+1戦略」に投資・活動を集約

6 → TIアメリカズの主なブランド

- John Deere (Ag&Auto)
- The First Years (MIT)
- JJCole
- Lamaze
- Boon
- Pokémon (Toy & Hobby)

+1 → 投資が殆ど伴わない新商品

- Mocchi-Mocchi- (ぬいぐるみ)、アニア等

とにかく赤字を出さない！

2016年 上半期

アメリカズ 計画並

TI地域別戦略 (TI ヨーロッパ)

- 構造改革—日本直轄経営 実行済み+リストラ済み
- 「Super 8」 + 3地域に投資・活動を集約

Super 8 → TIヨーロッパの主力ブランドに集中

→ 英・仏・独 に集中し、その他直営業所
を閉鎖、現地Agentに切り替え、輸出
を高める

とにかく赤字を出さない！

2016年 上半期

EU 計画並

TI地域別戦略 (TI オーストラリア)

- 構造改革—日本直轄経営 実行済み
- 「強い営業力を活かし、日本商品の展開」
- 事業の集中と選択の一環として
一部ベビー用品の無形固定資産の
減損損失等(510百万円)を計上

オーストラリア展開商品



© Disney © Disney/Pixar
© Disney Based on the "Winnie the Pooh" works by A.A.Milne and E.H.Shepard.

トミカ大型プレイセットで人気No.1!



話題の北海道新幹線を自由に操作!



最大約100cmの大きさのショップ!



全世界で話題の全く新しいペットトイ!



ゲーム連動玩具を世界同時発売!



大ヒット女児向けクラフトトイの最新作!



リアル体感ゲームの最新版が登場!



8年振りフラグシップモデルをリニューアル!



大人気のシューティングトイ!



累計販売数500万個突破!



VRで宇宙旅行へ!



	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 目標	2017年度 目標
売上高	1,499	1,630	1,680	1,900
営業利益	24.7	26.9	40	80
営業利益率	1.6%	1.7%	2.4%	4.2%
EBITDA	111	116	133	173

売上高 1, 630 → 1,680 +50億円

- 国内ベイブレード、カミワザワンダ、ヒーローアカデミアなど
- 定番安定成長
- 海外ビジネス 利益改善 集中

営業利益 26.9 → 40 +13.1億円

- 増収および海外ビジネス改善

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 目標	2017年度 目標
売上高	1,499	1,630	1,680	1,900
営業利益	24.7	26.9	40	80
営業利益率	1.6%	1.7%	2.4%	4.2%
EBITDA	111	116	133	173

売上高 1, 680 → 1,900 +220億円

- 海外ベイブレード
- トランスフォーマー ムービー5
- その他 新規コンテンツ

営業利益 40 → 80 +40億円

- 増収による増益

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

国内

アジア

海外

ベイブレードバースト

カミワザワンダ

僕のヒーローアカデミア

スナックワールド

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

トランスフォーマー
ムービー5

トランスフォーマー
ムービー6

トランスフォーマー
ムービー7

映画
コンテンツ

映画
コンテンツ

TAKARA
TOMY
GROUP

約20 大型
コンテンツ

新規
コンテンツ

新規
コンテンツ

新規
コンテンツ

タカラトミー2016年度 上半期

- 改革の成果が出ている
 - 日本、アジア引き続き好調
 - 海外改善続く
 - 企業イメージUP、話題商品を創出
- 下期も期待商品多数、店頭動向好調
- 2017年度以降も充実した商品群





本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。